

第12回国家公務員共済組合連合会契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成30年 9月10日(月) 九段合同庁舎9階 共用第一会議室	
委員 (敬称略)	委員長 栗田 誠 (白鷗大学法学部教授) 委員長代理 藤川 裕紀子 (藤川裕紀子公認会計士事務所 公認会計士) 委員 渡辺 周 (平沼高明法律事務所 弁護士) 委員 磯野 宏志 (国家公務員共済組合連合会 常任監事) 委員 大森 茂 (国家公務員共済組合連合会 常任監事)	
審議対象期間	平成29年度	
抽出案件	6 件	(備考)
企画競争	1 件	契約件名 : 第二次中期計画実行支援等及び次期中期計画の策定支援業務 契約締結日:平成29年5月25日 担当部局 :本部(経理部)
	1 件	契約件名 : 新病院の電力供給契約 契約締結日:平成29年11月30日 担当部局 : 虎の門病院(病院部)
	1 件	契約件名 : 廃棄物処理委託業務 契約締結日:平成29年4月1日 担当部局 : 舞鶴共済病院(旧令病院部)
	3 件	1.契約件名 : ビデオ撮影業務委託契約(2件) 契約締結日:平成29年4月1日 担当部局 : 東京共済会館(宿泊事業部) 2.契約件名 : 写真撮影業務 契約締結日:平成29年4月1日 担当部局 : 金沢共済会館(宿泊事業部)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
理事長に対する意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答等
<p>【案件 1】 第二次連合会中期計画実行支援(中期計画実行支援等)及び次期中期計画の策定支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画競争の手順や方法が明確化されていないのではないか。 ・業者の見積もりをそのまま予定価格に使用すると、価格交渉の余地が無くなってしまわないか。 ・抽象的な採点項目は個人の主観が入り易く、その評価の正当性を審査する上で判断が難しいので、内訳として具体的な項目に細分化すると良いのではないか。 ・説明会やプレゼンを辞退した業者に、今後の参加数を増やすための参考として具体的な辞退理由を聞いてはどうか。 ・結果として毎年同じ業者にコンサルを依頼することになる場合は、業務に関する知識量や習熟の度合いによって価格交渉をするなど、馴れ合いと受け取られないような仕組みが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画競争について、審査委員の選定の仕方は定めているが、実際の評価の仕方などは具体的に定めていないため、現在、見直しを図っているところである。 ・コンサルティングに関しては一般的な積算根拠などが公表されているわけではないので、見積もりを基準とした予定価格となるが、その後の価格交渉を行う仕組みを検討していきたい。 ・検討していきたい。 ・検討していきたい。 ・検討していきたい。
意見・質問	回答等
<p>【案件 2】 新病院の電力供給契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画競争として提案を要望している「省エネ等による電力適正化を検討する必要」について、案件本体の採点項目に上げられていないのではないか。 ・「発電所の信頼性」など、電力の技術的な点を評価する上では、担当部署などが審査委員として適任なのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別途、使用電力の適正化に関する提案があり、付加価値サービス等の採点項目として評価したところではあるが、案件本体の採点項目との関連について検討しておくべきであった。 ・担当部署は、日常的に業者と接する機会が多いため、審査に与える影響が無いよう審査委員から外したところであるが、外部から専門家を入れるなど、他の病院の事例も含めて今後対応していきたい。

意見・質問	回答等
<p>【案件 3】 廃棄物処理委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態として同じ業者との随意契約しか選択肢がないのであれば、他の異なる契約も一緒に依頼すると総合的なメリットがあるのではないか。 ・契約期間中に業者との間で業務改善のテストをしていたのであれば、次の契約においてはその成果を仕様に落とし込み、早い段階から周知して公平な競争にできるような工夫をしていく観点も必要ではないか。 ・案件については、企画競争として複数の応募を期待するとしながらも、審査基準が準備されておらず、形式的なものとなっていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討していきたい。 ・検討していきたい。 ・予め審査基準を準備して、企画競争の手続を行うべきであった。
意見・質問	回答等
<p>【案件 4】</p> <p>4-1「ビデオ撮影業務委託契約(2件)」 4-2「写真撮影業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4-1については、評価表が評価項目だけでなく、視点という形で細目が設定されていて評価できる。 ・評価表について、施設ごとに作成しているとのことだが、プライダルを扱っている他のKKR施設と共有できれば、作成の手間を省けるとともに、互いの評価の視点が分かり、業務改善にも資するのではないか。 ・予定価格に歩率や件数などを入れているが、数量を前年実績に置き換えて仮定の単価を算出し、予定価格として立てるべきではないか。 ・審査基準について、大きな項目は参加者に明示すべきではないか。 ・内部基準としての最低点を設定する場合は、事前に参加者に明示すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表について、他のKKR施設と共有できるよう検討していきたい。 ・歩率の契約であっても、契約全体のボリューム感が把握できるよう前年度実績などを記載することとしたい。 ・大きな項目は明示することとしたい。 ・最低点を設定する場合は、事前に参加者に明示することとしたい。